

平成25年度第1回富士見市生涯学習推進市民懇談会会議録

日時 平成25年6月27日(月) 10:00~12:00
場所 富士見市役所 第2会議室
出席者 ○市民懇談会委員

委員長	副委員長				
小塚	横田	岩田	植松	岡本	荻島
○	○	○	○	○	○
桐生	清水	田中	前田	森本	山田
○	○	○	○	欠	○

○事務局

【地域文化振興課】市川課長、中嶋副課長、大下主事補

【生涯学習課】金田課長、佐藤副課長、榎本主事

1. 開会あいさつ 小塚委員長

2. 議事 議事進行 小塚委員長

(1) 資料確認

事務局より、配布資料の確認を行った。

(2) 報告事項

①生涯学習推進市民懇談会協議のまとめについて

事務局より、説明を行った。

委員) まとめの報告先はどこか。

事務局) 決裁規定に基づき市長宛の報告となる。

委員) 「情報の一元化は重要であるが、顔と顔を合わせてわかるようにすることが大切であり、・・・」という記述があるが、これはどういう意味なのか。

事務局) コーディネーターや公民館職員が窓口となるという意味。「情報の一元化は重要であるが、相談体制の整備等が必要であり、・・・」に書き換えた方がよりわかりやすいので変更する。

委員) 優先順位を決めたらどうだろうか。また、SNSを活用する等市民と対話し意見をダイレクトに取り入れたらどうだろうか。

事務局) 今までの議論のなかで優先順位を決めていないので今回のまとめは優先順位を決めなかった。今後の課題としては検討していきたい。

委員) たくさん課題があるので、急いでやったほうがいいもの、すぐできるものなどある程度わけながら、時間がかかるものは次回の委員会にバトンタッチして協議を続けて行きたい。

②生涯学習情報提供の推進について

富士見市生涯学習ガイドブックについて事務局より、説明を行った。

委員) まとめ方だが、分野がばらばらになっている。もっと見やすくないのか。

事務局) 順序や配列が十分でない部分についてはこれから調整したい。

委員) 富士見市の福祉活動センターでも同じ様な活動をしている。それはガイドブックには記載しないのか。

事務局) ボランティア活動の情報もこれからまとめていく必要性を感じている。社会福祉協議会とも調整しながら加えて行きたい。

委員) 問い合わせが多いことに関して、よくある質問という項目を作り記載したほうがいいのではないか。

事務局) 可能な範囲で作成するよう検討していきたい。初めての試みであり、できるだけ可能なところは盛り込んで発行したいが、これから年々積み重ねることで充実を図って行きたい。

委員) 生涯学習ハンドブックはどの範囲でどれくらい配布するのか。

事務局) 庁内での印刷で200部作るため届く範囲は限られるが、HPにも載せて各施設で印刷できるようにするので、活用できる場所に届けたい。また、今回は庁内の印刷であるが、将来的には予算化して作りたい。

委員) 来年度からはなるべく早めに配布して欲しい。

事務局) 公民館などで調査してまとめたものがきたのが4月であり、そこから制作となった。来年度からは改善できると思う。

委員) 初めてガイドブックをまとめたことは評価したい。また広報の生涯学習のコーナーなどで市民全体に知らせて欲しい。

委員) 高齢者はパソコンが苦手な人もいる。できるだけ印刷物として発行して欲しい。また、団塊ジュニアの世代に合わせた施策も考えることは有効であると考えている。

委員) 公民館祭りや交流センターのお祭りなどのイベントがすべて掲載されていない。生涯学習の一環として、学習成果を発表するのは大切

なのでできるだけイベントはすべて載せて欲しい。また、「はじめに」の部分に内容がまだ不十分であるためこれから充実をはかっていく旨をかいたほうがよいのではと思う。

事務局) 団体情報は登録している団体で、情報を公表して可としている団体のみを掲載している。イベントに関してはなるべく網羅したい。

委員) 市民は自分たちがやっている活動が生涯学習であることを知らないことが多いと思うので、意識を共通化していくことが必要である。「はじめに」の部分は、生涯学習を拡げていくために情報の整理をおこなったという意味の文章でもよいと思う。

委員) 「はじめに」の部分に目を向けてもらえるようにキャッチコピー的な言葉をそえてはどうか？

(3) その他

・出前講座について

事務局から説明を行った。

委員) 出前講座に対する、学校教育現場のとりくみはどうなっているのか。

事務局) 学校教育では授業の一部として取り入れている。

委員) 良い講座がたくさんあるのに、市民が利用しない講座があるのではないか。

事務局) 学習機会であると同時に、行政が説明する行政サービスのひとつである。要求がなくても、プログラムを用意しておきたいし、説明場面としても活かして行きたいという両面を持っている。

委員) ここにない講座の要望も対応するのか。

事務局) リクエスト講座としてメニュー外の要望も受け付けている。昨年度は4件行った。

委員) まちづくり講座と出前講座という二つの表記があるがどちらが名前なのか。

事務局) 正式名称はまちづくり講座であるが、埼玉県で行っている県政出前講座があるので、出前講座という名前で始め、現在も通称として残っている。

(4) その他

今回で当委員会の任期が満了となること、これから次期委員の選考をすすめていく予定であることを事務局から説明した。

3. 閉会あいさつ 小塚委員長